

西土佐出張所管内より



女性部西土佐支部が『家の光』記事活用 クラフトテープで素敵にカゴバッグ作り

女性部西土佐支部は7月4日、「家の光」7月号別冊付録「暮らしのひんやりアイデア」掲載の「紙バンドのカゴバッグ」を作りました。以前よりご自身で作っていた部員の田辺五月さんが講師役となり順番に見回りながら教えていました。ほとんどの部員が初めてでしたが、カゴバッグを編んでいく作業に夢中になっていました。ある程度進んだところで宿題となり、後日再開する教室やご自宅で仕上げることに。出来上がった作品は、昨年制作した帽子と一緒に、10月30日に開催する「家の光健康大会」のファッショショーンショーで披露する予定です。

女性大学はた小町 「すてっぷあっぷコース」 米袋バッグ作り

7月9日に、第2回『第12期女性大学 はた小町』で「米袋バッグ作り」を開催しました。準備するものは身近にあるもの。作る工程も複雑でなく簡単♪さらにさらに米袋は3重構造になっており紙質も硬くて丈夫なのです。

かねてより楽しみにしてくださっていた受講生もいて、みなさん一心不乱に作品作りに没頭していました。袋の口を1カ所留められるようアレンジする受講生も。皆さんすてきな米袋バッグが出来上りました♪

9月の第3回目講義では陶芸教室を行う予定です。

幡多地区より



中村支所管内より



女性部中村支部が料理教室 夏野菜をふんだんに使った逸品

女性部中村支部は7月23日、中村地区内の地区長が集まり、夏野菜を使った料理教室を開催しました。料理は4品。「キュウリとミョウガの冷たいみそ汁」、「そうめん」、「豚肉と夏野菜の中華風いため煮」、「和え物3種」。夏野菜はナス、カボチャ、ピーマン、タマネギ、トマト、ジャガイモなどを豪快に切り大鍋で炒めていました。和え物は、モロヘイヤ、ツルムラサキ、金時草をそれぞれ湯通し味つけ。少し粘り気のある緑黄色野菜で栄養満点です。和え物や炒め煮など野菜は部員さんが持ち寄った自家製野菜。安全安心で新鮮！ 調理した後はみんなで机を囲み、「体に良くておいしい！」や「ミョウガがいいね」など話し食事を楽しみました。

高知放送 キリンビール 「たっすいがはいかん」 TVコマーシャル撮影 いごっそうなすでアピール

県内JAは、キリンビールたっすいがはいかんCMとのタイアップを年間5本分行っています。県内農産物のPRとともに、農産物を使った料理がキリンビールに合う！というコンセプト。

7月22日、西土佐管内で「いごっそうなす」を栽培する安藤久徳さん・由美さんは場で撮影を行いました。現地で作り食べる料理は「いごなすのたたき」。キリンビール四国支社の近藤支社長らと生産者の安藤さん家族が、歓談しながらいごっそうなす料理を食べキリンビールのアピールをしました。ぜひご覧ください！

西土佐出張所管内より



放送枠：高知放送 土曜日 20:54～
「RKCニュース」内の天気予報の直後に放送。
期 間：9月14日(土)～11月2日(土)

6 西土佐出張所 米ナス（露地栽培）現地検討会開催



部員のほ場を見回り意見を交わす部員の皆さん。

西土佐米ナス部会の露地栽培をする部員の皆さんは7月10日、今年度第1回目の現地検討会を開催しました。部員のか四万十市西土佐総合支所産業建設課や幡多農業振興センターが参加しました。同部会は露地栽培をする部員は10人。合せて175アールを栽培しています。全部員のほ場で生育状況などを見回りました。露地栽培では5月上旬に植え付けし、6月下旬には収穫が始まっています。岡村営農指導員はかん水や追肥について、また、病害虫の予防を呼びかけました。

7 大方支所 濱田省司高知県知事が黒潮町を訪問 グリーンレモンほ場を視察



濱田知事と記念撮影をしました。

黒潮グリーンレモン研究会の下村昌幸会長のほ場に7月9日、濱田知事一行が視察のため訪れました。知事は県内を巡回しており午前中は大町、午後は黒潮町の缶詰工場を視察。その後グリーンレモンのハウスへ。同会下村会長や金子副会長、黒潮町や県の関係者などが参加しました。下村会長は、グリーンレモンを始めたきっかけや、市場からの引き合いについてなどをお説明。濱田知事は「ターンや若い世代の会員がいることなどに关心を寄せていました」。

4 宿毛支所 五穀豊穣を祈って 坂本神社



お祈りをする出席の皆さん。

宿毛市橋上町坂本地区は7月21日、坂本神社にて農作祈願の夏祭りを行いました。地域住民や地区長など14人が出席。坂本神社は八つの社を集めた神社で地元出身の有志の方が出資し建立されました。これまで地域住民を見守ってきました。これまで毎年夏の豊作祈願と秋の収穫祭も行っています。出席者は「以前はもっと出席者もいたが、若い人が出て行ったりで人口も減った」と話します。それでも秋の収穫祭では皿鉢を囲みもち投げもあり賑やかに行うそうです。宮司が祝詞を唱えた後、出席者らで神輿を担ぎ地域の豊作や繁榮を祈りました。

5 西土佐出張所 米ナス部会（ハウス・雨よけ栽培）目慣らし会開催



検査員の注意事項を聞く部会の皆さん。

西土佐米ナス部会は雨よけ栽培における米ナスの出荷が本格化し6月28日、集出荷場にて目慣らし会を開きました。検査員がヘタ部や果実部の皆さんは、収穫する際、等級にも影響するため、コンテナへ敷物をして運ぶなどが動かないよう細心の注意を払います。また、品質の良いものを出荷するため厳しい目で選別し箱詰めまで行い、さらに検査を終えた箱を梱包し輸送の準備まで手伝っています。同JA販売経済課は「荷動きは順調、新規の業務取引もあり引き合いは強い。今後も継続的に取引や商談を行い価格上昇に努める」と話しました。

Monthly Topics

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

大方支所管内の黒潮グリーンレモン研究会は7月1日、今作の出荷に向けた目慣らし会と現地検討会を開催しました。会員のほか黒潮町、高知県幡多農業振興センターやJAなどが参加。同販売課が出荷規格の説明や規格外についての説明を行いました。

目慣らし会では毎年、会員の収穫直前の果実を持ちより、搾って果汁の量を見比べています。樹齢等で果汁量はやや異なるものたっぷりと搾られた容器が並んでいました。会員らは最盛期でいかに

Mサイズの収穫量を増やすかを課題に取り組んでいます。現地検討会では会員2人は場を巡回。幡東農セントラの伊藤指導員が生育ステージや施肥管理、防除管理など会員のほ場概要を説明し意見を交わしました。金子俊博副会長は「花を早く咲かせることがポイントであり、前作の収穫を9月中に終わらせて11月にはしっかり木を休ませることが大事」と話しました。同研究会は12人が所属し合わせて約269アールを栽培。昨年度は67t出荷しました。今年は70tを目指します。



樹勢や果実の大きさを見て意見を交わしました。

1 大方支所

グリーンレモン出荷始まり 目慣らし会と現地検討会開催

3 中村支所 よさこいミニトマト令和6園芸年度終え反省会



反省会で質問や意見を交わす会員の皆さん。

中村支所よさこいミニトマト令和6園芸年度の累計において販売動向や同会の出荷経過などを説明。会員の皆さんは各月の出荷量や販売代金単価の動きなどの資料を確認しました。福本営農指導員が、次年度の定植時から収穫終わりまで、毎月の病害虫の発生を予測、その予防や対策として使用回数も記載した薬剤の散布計画案を示し説明。また、幡多農業振興センターの山口さんがマルハナバチの特徴や扱い方、農業の適正使用等を説明し注意を呼びかけました。同会安田幸人会長は「次年度に向け勉強会を開催し品質や収量の向上に努めた」と話しました。

2 十和支所

シットウ部会が十和・大正地区で現地検討会開催



芝部会長のほ場で意見を交っています。

十和支所園芸部シットウ部会は7月7・8日の2日間大正園芸部会を開催しました。部員やJA、高南農業改良普及所が参加しました。同部会は64人が所属。地域別で集会所等に集まり、新改営農指導員、伊与田営農指導員が二手に分かれ栽培管理やかん水、整枝や病害虫の対策について説明。また、農業事故防止に向け農薬使用について注意喚起を行いました。芝忠春部会長のほ場では約47本、6月8日より収穫が始まります。収穫は11月下旬まで続きます。

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています!

みんなのひろば

認知症予防のため、脳トレ、運動、ストレス軽減など取り組んでいます。

(佐賀出張所管内・75歳)

認知症に限らず、全ての病気において早期発見が大切だと思います。

(中村支所管内・68歳)

今年は還暦なので元気な老後を過ごせるよう生活习惯の改善法を参考に予防していきたいと思います。

(中村支所管内・59歳)

▼7月号の特集は「認知症」について考えました。みなさんからのお便りでも、「良かった企画」でこの特集を挙げている方がたくさんいました。脳トレを楽しむことも大事ですが、バランスの良い食生活や体を動かすこと、人とのコミュニケーションなども同じように大切だと感じました。かといって、「認知症かも…」と心配しながら日々生活を送るのも面白くないですね。生活の中に喜怒哀楽があり愛情など心を豊かに、好奇心を忘れずくらしの中に楽しみを見つけ、大好きなお友だちと旅に出たりモーニングしたり散歩したりのスローライフを送りたい・と最後は私の願望が入ってしまいました。

青ねぎが1年中食べられて最高においしい。ちなみに我が家の中野菜は殆ど動物に荒らされ散々。シヨツクです。サル、イノシシ、シカ、ハクビシン、カラス、ネズミ皆生きる為大変なんですね。

▼ほんとうに鳥獣被害はあちこちで耳にします。JAの女性大学「あぐりコース」受講生の烟でも毎年被害があります。今回はカラスでした。作物の上にテグスを引いたり釣り針や光りものをぶらさげたりして対策をしました。いつも手に回っているので、先手を打たねばと反省しました。サル、イノシシ、シカ、ハクビシン、カラス、ネズミ、ヒトの生存競争ですね。

(三崎出張所管内・70歳)

ランチ食堂は年に6度だけなのでもっと増やしてほしいです。安くておいしかったです。

(大方支所管内・84歳)

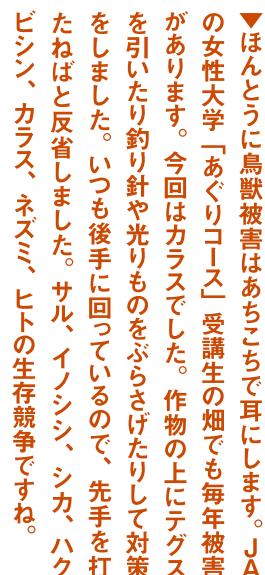
▼女性部幡多地区は毎週水曜日にJAグリーン四万十店2階の調理室でお弁当作りをしています。週によってメインのおかずが変わりますが「チキンカツ弁

当」、「からあげ弁当」のほか、「とりめし」や「じやこめし」も人気があります。その水曜日うち、年に6回をランチ食堂として取り組んでいます(下記参照)。「来場くださりありがとうございます。今年は9月を含めてあと3回です。みなさん、ぜひお越しください♪

ナスの料理いつもまんねり。何をしようかと考えてもなかなか難しい。今回の「うちんくの台所」の「揚げナスのねぎみそだれかけ」は見たその日にすぐ作って食卓へ出しました。好評で私の料理も1品増えました!♥

(西土佐出張所管内・64歳)

▼ナスは揚げても焼いても蒸しても漬けても良しで、味噌にも醤油にも、チーズにも合い和洋中作れます。でもこれまで、私もバターンが決まっていたのね。今年はナスの色々な料理に挑戦しました。7月号の「ねぎみそだれ」もその一つ。濃いみそだれが揚げたナスに絡み、ご飯が進みすぎました。



ランチ食堂 ～まだまだ夏野菜を味わうバイキング～

日 時 令和6年9月25日 水曜日 11:00 ~ 13:30

場 所 JAグリーン四万十店 2階 (四万十市右山五月町8-22)

料 金 1人につき1,000円 (予定)

メニュー(一部) ホタテとトマトの炊き込みご飯・
きびなごの天ぷら・ナスとオクラ、
ささ身の梅じょうゆサラダ・オクラの卵スープ・
ナスとチーズのステーキ・おろしキュウリの
塩昆布冷やっこ・ナスゼリー ほか
(内容が変更となる場合があります。)

*1階のレジにてチケットを購入してください。※予約はおこなっておりません。ご了承下さい。

※日程が変わるのはJAグリーン四万十店の掲示板にてお知らせいたします。

ランチ食堂 予告

＼ぜひお越しください♪／

令和6年 11月13日 (水)

令和7年 2月19日 (水)

JA高知県女性部幡多地区



写真はイメージです。